

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

| | | |
|---|---------|--|
| 1 | 施設名 | 仙台市原町児童館 |
| 2 | 指定管理者 | 特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク |
| 3 | 指定期間 | 平成29年4月1日から平成34年3月31日まで |
| 4 | 施設の利用状況 | <p>《利用者数》 55,715人（前年度比 100.7%） うち のびすく宮城野利用者 32,441人 （内訳 ひろば利用者 30,761人， 託児利用者 1,680人）※視察等の来館者 367人 平成28年度 55,344人 平成27年度 55,958人 平成26年度 55,861人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p> |
| 5 | 収支の状況 | <p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">（ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 49,683千円 （ 44,793千円） ・ その他市が負担した費用 0千円 （ 0千円） <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 4,234千円 （4,462千円） ・ その他収入 96千円 （126千円） |
| 6 | 利用者の声 | <p>《実施状況》 利用者アンケート，地域運営懇談会（児童館・のびすく宮城野），児童クラブ保護者懇談会を実施。</p> |

二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

| 評価分野 | 所見 | 評価 |
|----------------|---|----|
| I 総則 | 児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示、ホームページ等で利用者にも周知している。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。 | S |
| II 施設の運営管理体制 | 職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な運営管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練の実施等、安全に留意した運営に取り組んでいる。 | S |
| III 施設・設備の維持管理 | 日常的・定期的な保守点検や清掃により、建物、設備、外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取組みが実施されており、安全で快適な環境が保たれている。 | S |
| IV サービスの質の向上 | 名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だよりの発行やホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境作りに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。 | S |
| V 施設固有の基準 | 複合施設、区役所の隣接という地域特性を活かし、関係機関・施設・団体等と連携しながら児童館・のびすくの運営を行い、児童の健全育成や子育て家庭支援の拠点として、双方の事業の充実を図っている。 | S |

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

| 評価すべき取組み | | 取組み状況 |
|----------|--|-------|
| 1 | | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 加点評価 | | — |

四 評価総括

| 《指定管理者（ 特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク ）による自己評価》 |
|--|
| <p>子どもからお年寄りまで多世代が共に過ごし交流ができる施設として、3つ目標を掲げ地域における健全育成と子育て支援拠点として運営に取り組んだ。</p> <p>「安心安全な遊び場」を目標に、施設衛生管理と事故防止に取り組み、児童や保護者、地域の方まで居心地の良い工夫と環境づくりを行い、部屋のすみ分けや遊具の充実を図った。児童館として「子どもの興味を捉え楽しい遊びの実現」を目標に「飛び出せ！児童館」と題し、関係機関や地域の協力を得て、館外活動や自然体験活動を実践することで社会性、協調性を育み満足度を高める結果に繋がった。高学年来館促進として、中学校茶道部の「お茶会」美術部の「作品展示」、職場体験やボランティアの受け入れを積極的に行い、中高生の来館者数が最高となった。また子どもに関わる地域の会議に参加し、地域住民と共に防犯パトロール等の安心安全活動に協力することで、信頼と協力関係が深まりより協力連携体制が強化された。</p> <p>のびすくひろば運営においては、乳幼児親子の交流促進や、多胎育児中の家庭支援として、ツイズサロンを実施。双子、三つ子と保護者など毎回予想を上回る参加となった。また、子どもの好奇心や発達段階に合わせたプログラムを取り入れ、年齢バランスを考慮して行事を行った。相談事業は、重要度が増し多岐にわたる相談内容となっている。常に相談者の気持ちに寄り添い、安定した気持ちで子育てができるようサポートし、必要があれば関係機関と連携し対応を行った。</p> <p>一時預かりは、0～1歳児が多く利用、リピーターの利用も非常に多かったが、障害や支援の必要な乳幼児や保護者が外国人のため個別対応の必要度も多くなった。状況により職員を増やし体制を整え安心安全な託児に努めた。</p> <p>今年度は、更に地域や関係機関との連携協力体制、信頼関係も増し、事業運営について理解いただいていることで総合的に多世代交流や充実した事業を行うことができたと感じている。</p> |

| 《施設設置者（仙台市）による評価》 | 総合評価 |
|---|------|
| <p>居室の利用方法などを工夫しながら、利用者が安全・快適に利用できるよう取り組んでいるほか、併設施設や関係機関、地域の諸団体等と密接に連携を図りながら、各種イベントを開催するなど児童の健全育成に努めている。</p> <p>また、中高生の来館促進・居場所確保に向けた行事の企画運営を行うなど、積極的に世代間交流に取り組んでおり、評価できる。</p> <p>のびすく宮城野としても、看護師等による専門性の高い相談事業、多胎家庭向けのサロン、子どもの年齢や発達段階に合わせたイベントなど、子育て家庭の多様なニーズを踏まえた様々な事業を展開し、子育てに対する不安や負担の軽減等に大きく貢献している。また、乳幼児親子と幅広い年代との交流や、地域の関係機関、団体との連携など、児童館の特性を生かした事業運営に努めていることも評価できる。</p> | S |

◎ 評価担当課（施設所管課） 子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室